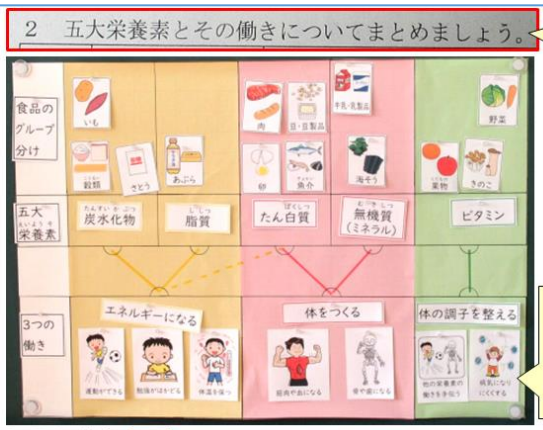
中堅教員（10年経過教員）の授業研究会をしました。R2.11.24

令和2年11月25日（水）　篠原校長

11月24日（火）に小学部5年生の教室で、中堅教員（10年経過教員）による公開授業研究会を実施しました。栄養教諭の石川先生による家庭科の授業として行いました。栄養素の働きと種類分けの学習内容でした。分かりやすい消化器官の模型や個別に用意されたシール貼りの教具、栄養素の一覧表等、周到に準備して授業に臨まれていました。子供達は、五大栄養素等、新しく学ぶ語句もあり、ちょっと戸惑う場面もありましたが、シールによる分類や、学習プリント整理、黒板の一覧表の仕上げ等、意欲的に活動していました。

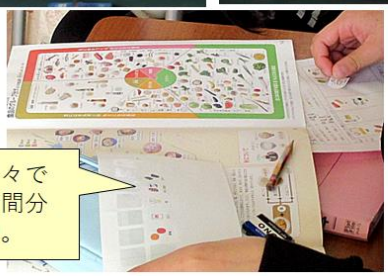
家庭科授業 石川栄養教諭 R2.11.24

立体的なサンプルは、消化器をイメージしやすいので効果的。



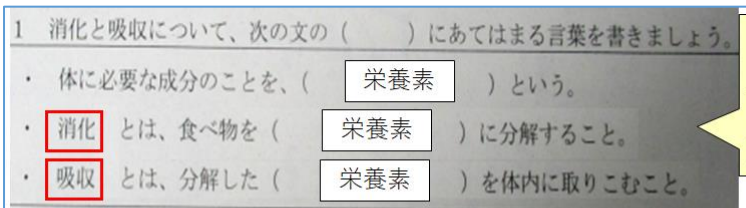
この表記があると、何を調べているのかを確認できる。

教科書と同じイラストを使うことが大事。常に教科書を確認することが効果的。



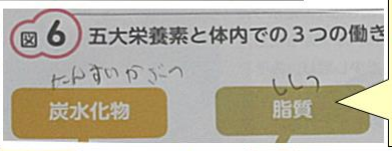
シールを使って、個々で**操作活動**をして、仲間分けすることは効果的。

調べたことを**確認して印をつける**活動で、定着を図れるので、効果的である。



【学習プリント】
「消化」「吸収」という語句にも注目させるために、**語句に枠をつけて強調**すると効果的である。
※ 記入欄の大きさにも配慮する。

【代表発表者への配慮】
代表で、黒板に答を貼ったり、書いたりする時には、**全員が注目する**ようにする。その中で、学習内容の共有が図られて、対話の素地が生まれ、学習内容の定着につながる。



【教科書にもっと書き込むように】
Aさんは、ふりがなを教科書に書き込んでいた。とても良いことである。教科書やノートに、もっと自分なりに**気付いたことをメモをする習慣化**が必要。

【これは？と、迷わせる仕掛けが必要】
教科書とのマッチングのみでは、学習は深まらない。どこに仲間分けするのか、**迷わせる工夫**が必要。そして「なぜその仲間分けにしたのか」という**理由を意見交換**させる場面づくりが効果的。